



情報源： SafetyNow - 2021年12月1日

## 個人用保護具（PPE）の標準化によるメリット をご存じですか？

個人用保護具（PPE）を選択することには躊躇してしまう方もいるかも知れません。なぜならPPEは作業環境に適用される法令に準拠する必要があり、また、かかるコスト、フィット等様々なことを検討する必要があります。

安全衛生管理者は作業者の様々なばく露リスクに対してどのような個人用保護具（PPE）が適切であるかを検討しなければいけません。PPEを標準化することにより、事業主は在庫の統一化や消耗品の互換性により様々な恩恵を受けることができます。その利点の一部を考えてみたいと思います。

## すべて同じメーカーのPPEを使用することで コスト削減につながるか？

まず、PPEの選択は様々な要件を考慮する必要があります。例えば、必要な検定を取得しているか？ PPEを使用する作業環境やばく露する有害物質に対して対応できるPPEであるかなど理解しておかなければなりません。しかし、PPEを標準化しておけばその一部を軽減し、さらに潜在的なコスト削減にもつながります。また、種類を限定することで在庫スペースや仕入れコスト削減にもつながります。



## トレーニングを簡素化することで、コンプライアンスを順守しやすくなることもありますか？

個人用保護具（PPE）の標準化はトレーニングの簡素化にもつながります。トレーニングについても異なるメーカーまたは異なる種類のPPEを使用していると、それぞれ異なるトレーニングが必要なため、標準化することで時間とコストを軽減することが可能です。フィットテストについても同じPPEを使用しているわけですから年に一度の実施で対応可能です。

また、PPEを標準化することですべての作業員が同じPPEを使用し、同じトレーニングを受けるため、適切な保護具を使用することでコンプライアンス順守にも役に立ちます。マスクのフィットテストで合格したマスクを使用しているため安心です。

## PPEを標準化することでコスト削減、安全衛生管理、コンプライアンス順守等様々なメリットがあることをご理解いただけますでしょうか？

PPEの標準化が行われると、全社が同じ基準でPPEを統一するので、使用可能なPPEの指示と安全衛生管理基準がわかり分かりやすくなります。また、作業員が同じ保護具を使用しているため、保護具に関する疑問を減らすことから現場の混乱も減らすことができます。さらに、使用可能なPPEのカタログを作成し、購入時はカタログリストから保護具を選ぶことで不適切な保護具の使用を避けることができます。

PPEの標準化にはコスト削減からコンプライアンスにいたるまで様々な利点があります。適切な保護具を選択する際に、信頼できるPPEメーカーとの連携が大いに役に立ちます。個人用保護具（PPE）に関する疑問、ご不明点等、[弊社の安全衛生のスペシャリストにぜひお問い合わせください。](#)